

ジャパンマイコンカーラリー (JAPAN MICOM CAR RALLY) 応援記

2018.1.7 石川記

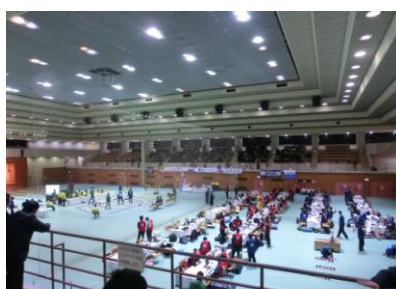
1月7日、日本工学院八王子専門学校講堂行われた2018 ジャパンマイコンカーラリーを応援してきました。このラリーは、規定内での各種パーツを用いて完全な自立走行技術を競うもので、無線操縦ではありません。

母校の西東兼弥君（電気科3年）は北信越代表5人の1人で、ベーシック部門（48人エントリー）に参加しました。競技は2台並走のタイムレースで、各々2回走行しベストタイムによる予選と、成績上位4人の決勝トーナメントで争います。

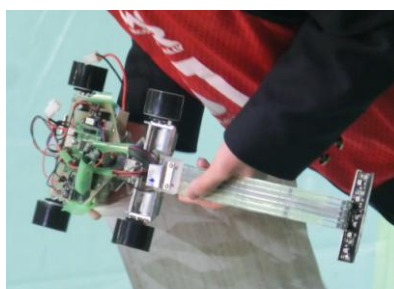
西東君は残念ながら2回ともコースアウトで記録がありません。コースは非常に過酷で、クランクが数カ所あり、ゴールできる率は50%程度でした。

母校では授業の一環で学んでいるそうですが、50年以上前の我々では全く考えられない技術の凝縮です。なお、部活レベルで実施しているアドバンスド部門もあります。石川県からは、羽咋工業（ベーシック部門）、大聖寺実業高校（アドバンスド部門）も参加しておりました。

なお、同窓会関東支部より、小原國男(36年E)、石川隆治(39年M)の二人が応援にかけつけました。



会場全体（左：競技コース、右：マシン調整箇所）



マイコンカーの裏側例（西東君のものではない）



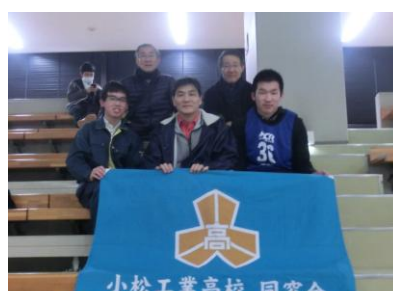
スタート位置にスタンバイ（右が西東くん）



いざスタート



ここでコースアウト



石川、小原
友達、林先生、西東君